



国民春闘共闘

2025 年度 第 17 号

2025 年 6 月 10 日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

25 国民春闘共闘 第 7 回賃上げ集計

単純平均 8,739 円・3.26% 加重 8,337 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は 6 月 5 日、第 7 回目の 25 春闘賃上げ集計を行いました。

<回答状況>

	2025 年	2024 年同期
回答引き出し組合	1115	1113
うち 有額回答	739(66.3%)	669(60.1%)
うち「定昇確保」など言葉による回答	376(33.7%)	444(39.9%)
うち 2 次回答以上の回答	153(13.7%)	195(17.5%)
うち 妥結組合	558(50.0%)	471(42.3%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		25 年要求	25 年回答	24 年同期	同期比	24 年最終
単純平均	額(円)	34,821	8,739	8,318	+421	8,503
	率(%)	11.03	3.26	3.17	+0.09	3.23
加重平均	額(円)		8,337	8,881	-544	10,163
	率(%)		2.79	3.04	-0.25	3.49
	組合員数		91,749	75,021		77,417

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較> 引き上げ率実績比=少数第三位以下四捨五入

		組合数	前年実績以上	前年実績超	25 年回答	24 年実績	実績比
単純平均	額(円)	563	368(65.4%)	314(55.8%)	8,875	8,457	+418
	率(%)	348	200(57.5%)	188(54.0%)	3.37	3.12	+0.24

<非正規の仲間の回答状況>

	25 年回答		24 年同期		同期比		24 年最終	
単純平均	額(円)	率(%)	額(円)	率(%)	額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
時給制	44.9	4.31	47.0	5.77	-2.1	-1.46	46.0	5.70
月給制	5,711	2.73	5,206	3.23	+505	-0.5	5,162	3.00
再雇用・時給	45.8	4.21	40.8	4.91	+5	-0.7	41.8	4.94
再雇用・月給	7,797	4.49	6,242	3.44	+1,555	+1.05	6,298	3.47

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

6月5日の第7回賃上げ集計には、27単産・部会から報告が寄せられ、1115組合が回答を引き出しています。前回調査（5月9日時点：984組合）から131組合増え、前年同期（2024年5月23日現在：1113組合）と同水準となっています。

回答引出し組合のうち、金額もしくは率が明らかとなっている有額回答を得たのは739組合（66.3%）で、前年同期の669組合（60.1%）を70組合・6.2㊦上回っています。

妥結・収拾方向となっているのは558組合で、妥結率は50%です。前年同期の471組合（42.3%）を87組合・7.7㊦上回っています。

回答内容

有額回答を得た組合での単純平均（一組合あたりの平均）は、8,739円・3.26%となりました。前回調査（5月9日：8,603円・3.19%）から136円・0.07㊦上昇しました。第1回集計（3月13日：7,499円・2.79%）から1,240円・0.47㊦増加しています。前年同期（2024年5月23日現在：8,318円・3.17%）を421円・0.09㊦上回っています。

加重平均（組合員一人あたりの平均）は8,337円・2.79%となり、前回調査（7,909円・2.76%）から428円・0.03㊦上昇しましたが、前年同期（8,881円・3.04%）を554円・0.25㊦下回りました。

1万円以上の5桁回答を引き出したのは、前回調査（220組合）から35組合増え、255組合となりました。前年同期210組合を45組合上回っています。回答金額が判明している710組合の35.9%が5桁回答となっています。

このうち、福祉保育労の組合で37,000円、全倉運の組合で34,628円、出版労連の組合で32,600円、建交労の社会福祉の組合で30,000円、全農協労連の組合で25,394円、金融労連の組合で25,910円、JMITUの組合で21,931円、化学一般労連の組合で21,476円、民放労連の組合で21,468円など31組合が2万円以上の賃金引上げを勝ち取っています（福祉保育労：9組合、全倉運：7組合、JMITU：4組合、建交労・社会福祉：3組合、化学一般労連：2組合、全農協労連、建交労・運輸、建交労・鉄道、金融労連、民放労連、出版労連：各1組合）。

前年実績と金額で比較可能な563組合での単純平均額を見ると、今期は8,875円で前年実績8,457円を418円上回っています。金額で前年実績を上回る回答を引き出したのは314組合（55.8%）で、前年実績同額が54組合（9.6%）、前年実績未満が195組合（34.6%）です。引上げ率では348組合の単純平均で3.37%と前年実績比0.24㊦増（少数第三位以下四捨五入）となっています。

回答引出し組合のうち、2次回答以上の上積みを獲得したのは153組合（13.7%）となりました。前回調査の128組合（13%）から25組合・0.7㊦増えましたが、前年同期の195組合（17.5%）を42組合・3.8㊦下回っています。単産・部会別に見ると、JMITU42組合（前年同期54組合）、日本医労連・医療19組合（同34）、化学一般労連18組合（同15）、全倉運16組合（同14）、生協労連・卸売小売14組合（同16）、建交労・運輸13組合（同22）、民放労連7組合（同10）、全印総連5組合（同6）、福祉保育労5組合（同2）、出版労連4組合（同8）、映演労連3組合（同1）、建交労・サービス3組合（同3）、全農協労連2組合（同1）、建設関連労

連 1 組合（同 2）、日本医労連・福祉 1 組合（同 3）となっており、前年同期は生協労連・運輸、生協労連・福祉：各 2 組合も 2 次回答以上を引き出しています。

単産・部会に単純平均を見ると、全農協労連（11,297 円・5.02%）、JMITU（10,988 円・3.53%）、化学一般労連 11,567 円・3.66%）、建交労・鉄道（12,230 円）、JMITU・通信（10,560 円・3.75%）、郵政ユニオン（10,000 円）、全倉運（13,136 円・4.65%）、金融労連（25,910 円・3.91%）、出版労連（10,124 円・2.85%）、映演労連（11,947 円・3.11%）、建交労・社会福祉（10,348 円）、福祉保育労（10,945 円・4.55%）が 1 万円を超えています。

昨年は、6 月の報酬改定に向けて医療、社会福祉・介護関係でこの時期に上積みが見られましたが、今期は医療で 5,866 円・2.05%など依然として厳しい回答状況が続いています。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況は、別表の 14 単産 217 組合から 462 件の獲得報告となりました。前回調査（5 月 9 日：186 組合 411 件）から 31 組合 51 件の増となっています。

このうち、時給制労働者では 273 件の獲得となっています。引上げ額が判明している 221 件の平均額は 44.9 円となっています。引上げ率では 57 件平均で 4.31%です。前年同期（2024 年 5 月 23 日現在：47.0 円・5.77%）を 2.1 円・1.46 割下回っており、昨年の地域別最低賃金の全国加重平均引上げ額 51 円にとどいていません。そうした中でも、日本医労連の組合で時間額 230 円、生協労連の組合で 120 円、化学一般労連の組合で 110 円、福祉保育労の組合で 100 円、JMITU の組合で 84 円、建交労の組合で 80 円など 31 組合が月額換算（月 150 時間換算）で 1 万円を超える回答を引き出しています。

月給制労働者では 92 件の獲得で、引上げ額は 80 件平均 5,711 円、引上げ率では 31 件平均で 2.73%となりました。単純平均額で見ると前年同期（5,206 円）、前年最終集計（5,162 円）を上回っています。

再雇用・継続雇用者の賃上げ状況は、時給制は 38 件の獲得で、引上げ額が 38 件平均 45.8 円、引上げ率は 13 件平均 4.21%となりました。前年同期 40.8 円（42 件平均）を 5 円上回っています。

月給制では 54 件の獲得で、引上げ額が 44 件平均 7,797 円、引上げ率は 15 件平均 4.49%となっています。金額で前年実績との比較が可能な 20 組合の平均を見ると、今期は 6,223 円で前年実績を 1,421 円上回っています。JMITU では前年最終集計と比べて月給制継続雇用者の賃金引上げ獲得が大幅に増えています。JMITU の組合で 10%引上げ、郵政ユニオンで 16,300 円引上げ、生協労連の組合で 10,000 円引上げなど高水準の回答を引き出している組合もあります。

企業内最低賃金協定の改定状況

企業内最低賃金協定の改定状況は、別表の 8 単産 82 組合からの報告となっています。

時間額では 68 件の獲得で、新協定の単純平均額は 1,137 円（60 件平均）で、引上げ額は報告のあった 42 件平均で 81.5 円、引上げ率は 40 件平均で 5.71%となっています。

日額改定は 20 件の獲得で、新協定が 15 件平均 9,772 円、引上げ額・率：375 円・4.11%（8 件平均）です。月額では 36 件の獲得で、新協定額が 28 件平均 186,064 円、引上げ額が 7,231 円（17 件平均）、引上げ率 3.32%（14 件平均）です。

職種別では日本医労連、生協労連から看護師、ヘルパーの獲得報告が寄せられています。看護師での新協定は時間額 1,441 円 (5 件平均)、日額 11,460 円 (4 件平均)、月額 220,536 円 (8 件平均) で、ヘルパーでは時間額 1,139 円 (3 件平均) となりました。